

園長先生 だより

vol.27

2025年2月10日

学校法人 公文学園 のびてゆく幼稚園
園長 佐藤 弘之

「伝統文化」に親しんでいます！

のびてゆく幼稚園では、幼児期に日本の「伝統文化」に触れることが大切であると考え、様々なことに取り組んでいます。1月には正門前に“門松”を飾り、“どんど焼き”でお正月に飾った注連縄や松飾りなどを燃やして、年神様をお送りしました。年中さんと年少さんは、“かるた会”で「いぬ棒かるた」を楽しみました。2月に入ると、先日の“豆まきの集い”で「節分」の行事に親しみました。今月はその他にも“すもう大会”に本物のお相撲さんに来ていただきます。そして、年長さんは“こま回し大会”に取り組みますので、こま回しの練習に励んでいます。子どもたちは、練習の成果を試すために「挑戦状」を手にして、先生方に挑んでいます。私にも挑んでくれる子どもたちがいますが、もちろん本気で対戦しています。子どもたちには挑戦力や達成感、そして自己効力感を育ててほしいと思います。

幼児期に伝統文化に触れることの意味は次のようなことがあると考えています。

1. 日本の文化や歴史への興味を育む
2. アイデンティティの形成につながる
3. 感性や創造力を豊かにする
4. 礼儀や思いやりの心を学ぶ
5. 集中力や忍耐力を養う
6. 国際社会での理解を深める基礎になる

*2月15日(土)は作品展です。子どもたちの成果をご覧ください！



学校法人 公文学園
のびてゆく幼稚園



©えんちょうせんせい